



国労東北自動車支部

職場の皆さん

私たちが国労は訴えます！

4月17日付、JR東労組バス東北No.37「国労のうごめきを許さない！」と品格を疑うような表現で組織の引き締めを図る記事が掲載されています。

なぜ問題なのか？

先日、某支店で国労組合員とA東労組組合員が洗車場で世間話をしていました。それを見ていたB東労組組合員が役員に報告し、後日「何を話していた」「加入の説得をされたのか」等根掘り葉掘り聞かれたそうです。

組合は違ったとしても働く者同士が話をしたり、交流をしてなぜいけないのでしょうか。仕事の話をしたり、趣味の話をしたり、一緒に遊びに行ったりするのはごく普通の会社・職場の風景ですし、当たり前の光景ではないでしょ

うか。

互いに監視？密告？

なんて息苦しい！

東労組内では、互いに組合員士が監視しあうことが奨励されているのでしょうか!?何かあれば役員に報告するようにと、いわば「密告」するようにとされているのでしょうか?そんな職場や組合では息苦しくてしょうがありません。国労組合員にとっては信じがたい光景です。

様々な意見があつて

こそ労働組合です

労働組合である以上様々な意見があつて当然であり、議論を通じて場合によっては批判(非難でなく)を通じてより良い方向を目指していくのが組合民主主義であり、労働組合の本来の運営ではないで



責 任
北山修司
編 者
教 宣 部
NO.26
2014.4.26

でしょうか。

職場の国労組合員は、たとえ少数であっても自信を持って主張すべきは主張し、活動し働いています。そして、相互に信頼しあい、仲間のために尽くします。職場や日常生活での不平・不満の声を正面から受け止め相談にのり、一緒に考えて行動していきます。

今、全国で国労加入が続いています。「心ならずも国労を脱退した」が最後は国労で頑張りたかった「職場のためにきちんと会社にも主張する」「いろいろな相談にのり、親身に世話をやいてくれる」などの声が相次いでいます。

職場の皆さん

国労は、すべての皆さんにいつでも門戸を開けています。一緒に生活と権利を守るため共に頑張りましょう。

国労の歴史

1946年JRの前進、国鉄(日本国有鉄道)に働く仲間の連合体として「国鉄労働組合総連合会」を結成。1947年全国単一組織としての「国鉄労働組合」として再結成。JRで最も歴史のある労働組合です。

国労運動の目的

- ① 賃金や労働時間、職場環境など労働条件改善と労働者の地位向上、組合員に対する不利益扱い・差別を許さない闘いの実践
- ② 全国交運共済(JR職域共済)や自動車共済会(JR自動車職場で働く人なら年会費1000円で大きな補償)など組合員・家族のための労働者福祉事業の展開
- ③ すべての働く労働者とともに憲法を守り、戦争に反対し、平和と民主主義擁護・制度改善など政治的運動の実践

コンプライアンスを守れ! STOP

コンプライアンス問題は今や企業の負うべき社会的責任です。

JR東日本においても、信頼される企業として全社員への教育、徹底をしています。こうした中、昨年も一部支社と一部現場管理者による新入社員を特定労働組合加入に強要する事象が見られました!

これは管理者による特定労働組合への「利益誘導」であり、不法行為です。ましてや会社と国労との間で交わされた「和解」の趣旨からしても逸脱した行為です。

「JR東日本はオープンショップ制であり、どこかの労働組合に加入しても試験・賞金で不利益はない」と、研修で会社・幹部が説明しているのはご存知ですか?

現場管理者の皆さん!
本社・支社と現場の温度差が無いように!
「組合」目標はご法度ですよ!

国労東日本本部 <http://www.e-nru.com/>